

強固なコーポレート・ガバナンス体制

(2017年7月1日現在)

- ✓ 監査等委員会設置会社
- ✓ グローバルな視点を持ち、多様かつ経験豊富な取締役

取締役



吉松 民雄
代表取締役社長



ヴィカス・ティク
代表取締役副社長
最高財務責任者(CFO)
兼ゼネラルマネジャー
トランスフォーメーション



古賀 靖教
取締役 上席執行役員
総務本部長



コスティン・マンドレア
取締役 上席執行役員
営業本部長



吉岡 浩
社外取締役
独立役員



田口 忠憲
取締役(監査等委員)
(常勤)



三浦 善司
社外取締役(監査等委員)
独立役員



イリアル・フィナン
社外取締役(監査等委員)
THE COCA-COLA
COMPANY 上級副社長
(ボトリング投資グループ
社長)



ジョン・マーフィー
社外取締役(監査等委員)
THE COCA-COLA
COMPANY
COCA-COLA ASIA
PACIFIC GROUP 社長

執行役員



那須 俊一
上席執行役員
IMO(インテグレーション
マネジメントオフィス)
本部長



ジャワハル・ソライ クップスワミー
上席執行役員
財務本部長



ブルース・ハーバート
上席執行役員
SCM本部長



高木 恭一
執行役員
経営企画統括部長



岡本 繁樹
執行役員
コーポレート
コミュニケーション
統括部長



尾関 春子
執行役員
法務統括部長



岡田 豊二
執行役員
人事統括部長



青山 朝子
執行役員
トランスフォーメーション
プロジェクト責任者



レイモンド・シェルトン
執行役員
IR統括部長



荷堂 真紀
執行役員
調達統括部長



エドワード・ウォルターズ
執行役員
ロジスティック統括部長



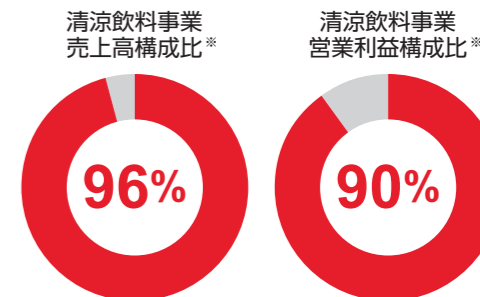
西口 洋一
執行役員
製造統括部長



村田 吉章
執行役員
キーアカウントマネジメント
統括部長

事業紹介

清涼飲料事業

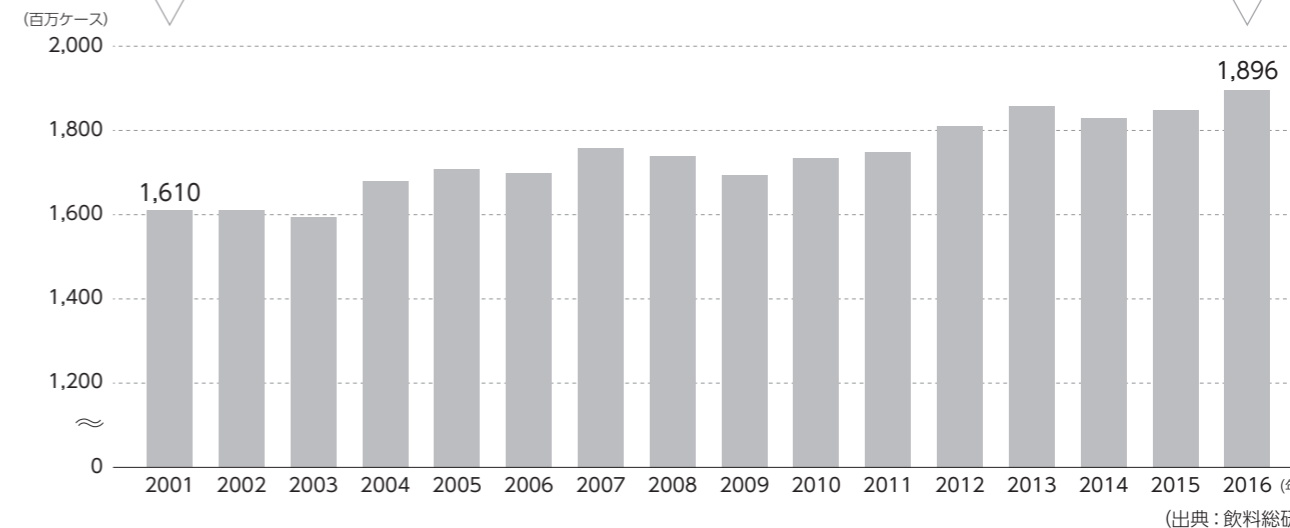
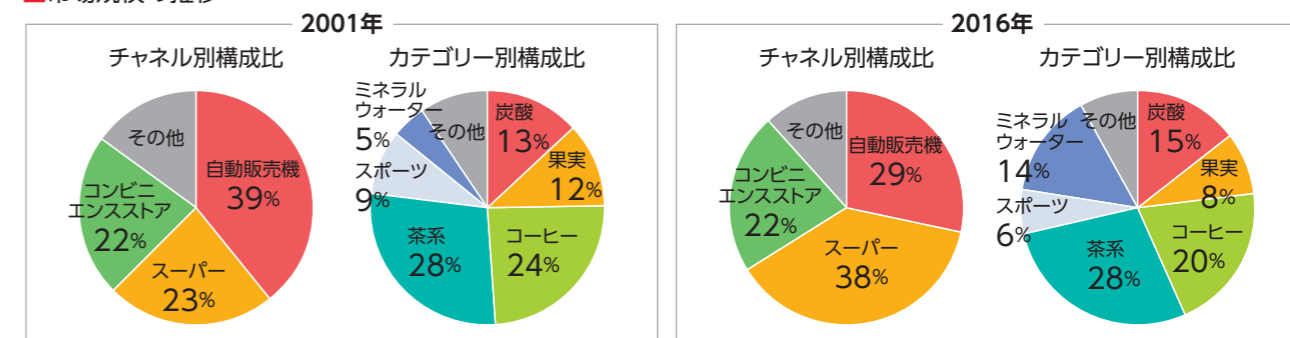


※2017年上期(1月~6月)実績

日本の清涼飲料市場

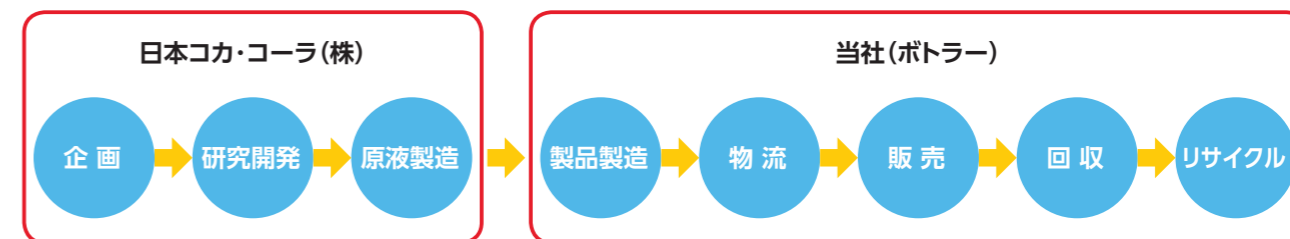
日本の清涼飲料市場は着実に成長しており、市場規模は15年間で約18%拡大しました。チャンネル別では「スーパー」が、カテゴリー別では「茶系」「ミネラルウォーター」が市場成長を牽引してきました。

市場規模の推移



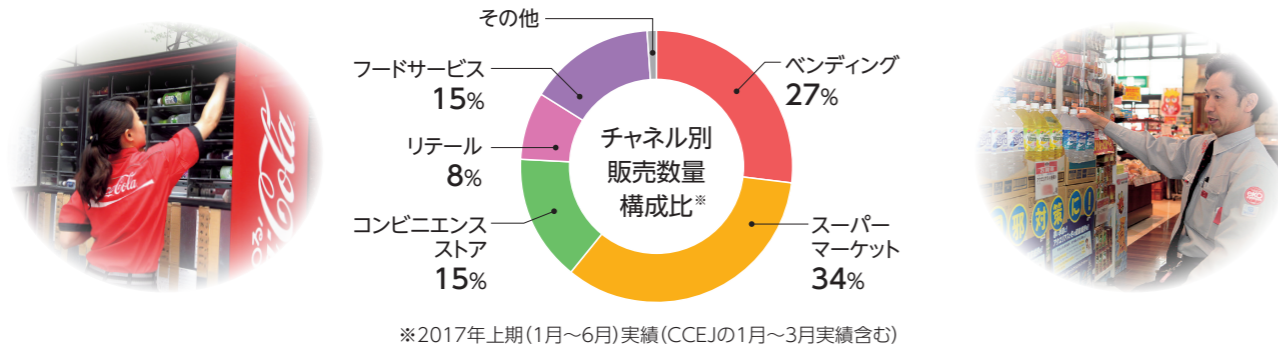
日本のコカ・コーラシステムにおける当社(ボトラー)の役割

コカ・コーラシステムはフランチャイズシステムを採用しています。ボトラーである当社は、フランチャイジーとして、最終製品の製造・販売を行っています。一方、フランチャイザーである日本コカ・コーラ社(ザ コカ・コーラカンパニーの100%子会社)は、製品の企画・研究開発や原液の製造、広告などを行っています。



清涼飲料事業

チャネル別の概況



チェーンストア (スーパーマーケット/コンビニエンスストア等)

スーパーマーケットでは、季節や催事に合ったキャンペーンを実施するなど、売場の活性化に努めています。また、店舗の業態・特性に応じ、適切な製品(ブランド・容量・パッケージ)を最適な卸売価格で販売するなど、きめ細かい営業活動を行うことで、利益を伴う売上高の増加を図っています。一方、コンビニエンスストアでは、新製品の投入やお得意さまとの共同プロモーションの展開などにより、売上げ増加に取り組んでいます。



スーパーマーケットでの売場づくり

ベンディング (自動販売機)

ベンディングでは、自動販売機を通じて、お客さまへ製品をお届けしています。自動販売機1台当たりの売上げ拡大に向けては、新製品・自動販売機限定製品の投入や、設置場所の特性に応じた品揃えの徹底など、自動販売機の魅力向上に努めています。また、新規設置における優良ロケーションの獲得に向け、ポテンシャルの高い屋内ロケーションへの積極展開を行うなど、収益性を見極めた活動に注力しています。さらに、2016年に開始したスマートフォンアプリ[Coke ON]では、ITを活用した新たな価値の提供に取り組んでいます。



スマートフォンアプリ「Coke ON」

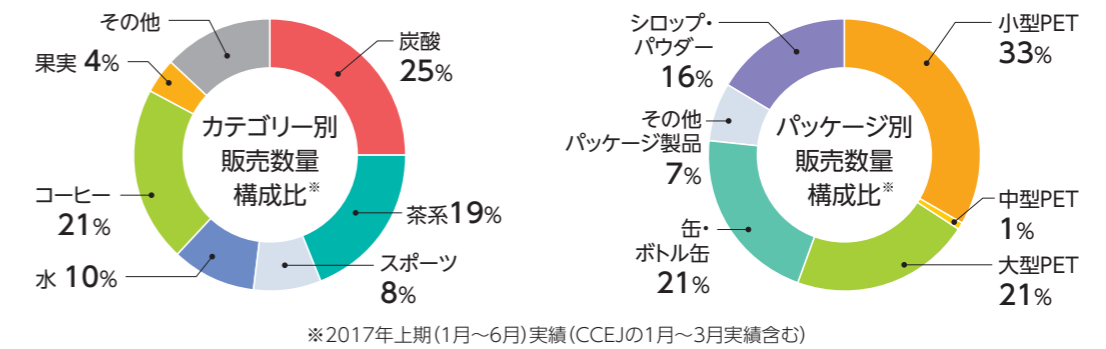
リテール・フードサービス (飲食店/売店等)

飲食店では、当社製品を使用したドリンクメニューを提案するなど、当社製品の取り扱い拡大を図っています。特に、ノンアルコールカクテルを「モクテル」として展開し、新たな需要の獲得に努めています。また、売店等では、レギュラーコーヒー機器や卓上クーラーなどの販売機器を活用することで、取引店舗の増加に努めています。さらに、インターネット通販に対するお客さまのニーズの高まりを受け、インターネット通販店への営業活動にも注力しています。



当社製品を使用したドリンクメニュー

製品別の概況



主要ブランドの状況

コカ・コーラ

炭酸飲料市場シェア第1位の「コカ・コーラ」ブランドでは、2016年は、リオデジャネイロオリンピックに連動したプロモーションを実施するなど、ブランドの活性化を図りました。2017年は、「コカ・コーラ」スリムボトルの「桜デザイン」、「地域デザイン」など、さまざまな限定ボトルを展開しています。また、特定保健用食品*の「コカ・コーラ プラス」を発売しており、健康意識が高く、おいしさへのこだわりが強いお客さまのニーズに応えています。



*特定保健用食品に関する許可表示等の詳細は、<https://www.ccbji.co.jp/product/>をご覧ください。

ジョージア

缶コーヒー市場シェア第1位の「ジョージア」ブランドでは、2016年は、お客さまの多様なニーズに対応すべく、コクとほどこい甘さが特長のボトル缶コーヒー「ジョージア ザ・プレミアム 微糖」や、淹れたてのような香りとコクをご家庭やオフィスで楽しめる「ジョージアカフェ ボトル缶コーヒー」(950ml) などさまざまな新製品を発売しました。また、需要が高まる冬季には、自動販売機において、加温製品をよりおいしく飲用いただける温度で提供する「自販機+2℃キャンペーン」を実施しました。



綾鷹

「綾鷹」は、厳選国産茶葉を使用した「にごりのある、急須で入れたような本格的な緑茶の味わい」が特長のお茶です。2016年は、「綾鷹」と「綾鷹にごりほのか」の2つのフレーバー展開でお客さまの幅広い嗜好にお応えすることにより、売上げ増加を図りました。「綾鷹」の発売10周年である2017年は、製品パッケージのリニューアルを行うなど、「綾鷹」ブランドのさらなる強化に取り組んでいます。

